

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20059
事業名	ラジオ・テレビ等利用広報費					
評価担当課	所属名	総)広報部 広報課				
	課長名	瓦本 一大	担当者名	久保田佳祐、田中里	電話番号	011-211-2036
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input checked="" type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他
	目的	短期	日常生活の中でより多くの市民に市政情報を伝えるため。			
		長期	市政情報や市政の課題について市民との情報共有を進め、市民が主体となったまちづくりを進めていくため。			
取組内容	①ラジオ・テレビ広報番組等：市民に広く市政情報を提供するため、ラジオ広報番組、テレビ広報番組を制作、放映する。また、市政情報を紹介する動画・マンガを制作して、SNSや街頭ビジョンで配信する。②報道機関への情報提供：原則月2回、定例市長記者会見（市政記者クラブ主催）を実施している。また、市議会の開催や市長・副市長への表敬訪問のほか、事業の実施や会議の開催、制度のスタートなど、市政に関する情報について、報道機関への説明会（記者レクチャー）や、資料配布（広報メモ・投げ込み）を行っている。					
実施結果	・テレビ番組年間96本（2局2番組）、ラジオ番組年間58本（2局2番組）を制作、放映。市内大型ビジョンで市政情報を発信。市政情報を動画やマンガにまとめ、SNSやホームページで発信。 ・定例市長記者会見は20回、臨時市長記者会見は19回開催。報道機関への説明会は20回開催。また、報道機関への資料配布については、広報メモは毎日実施したほか、投げ込みは2,919件（市関係分）であった。					
事業実施における工夫点	市民に親しみをもって視聴してもらえるよう、札幌で働く方々やまちづくりに取り組む市民にスポットを当てた番組を企画し、市民が出演する機会を積極的に設けている。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市自治基本条例					
他都市の状況	ラジオ・テレビ広報番組を使った情報発信や報道機関への情報提供は、他指定都市でも同様に実施している。					

## ◎事業費

(単位：千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	52,162	52,699	57,742	61,699	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	6.0	6.0	6.0	6.0	
人件費	43,200	43,200	43,200	43,200	
計(事業費+人件費)	95,362	95,899	100,942	104,899	
事業費の内訳	令和3年度決算	・ラジオ・テレビ番組制作放送経費：32,267千円 ・その他パブリシティ(動画・記録映像)：13,687千円 ・その他事務費(職員手当、その他委託料等)：11,788千円			
	令和4年度予算	・ラジオ・テレビ番組制作放送経費：42,900千円 ・その他パブリシティ(動画・記録映像)：9,860千円 ・その他事務費(職員手当、その他委託料等)：8,239千円 ・サッポロスマイル魅力発信費(企業等連携、公式SNS運営)700千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	テレビ広報番組(レギュラー放送枠)の放送回数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	97	84	96	124	
活動指標2	指標名	ラジオ広報番組(レギュラー放送枠)の放送回数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	50	48	58	120	
成果指標1	指標名	広報番組を見た(聞いた)ことがある市民の割合			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	25.30%	30.00%	25.50%	30.00%	
成果指標2	指標名	報道機関向け説明会実施回数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	80	24	20	24	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して定期的にテレビやラジオを放送する機会を設け、テレビ番組は96回、ラジオ番組は58回放送したが、番組編成の変動なども影響し、前年と比べて平均視聴率および聴取率は減少した。</li> <li>市政情報を紹介する動画とマンガをそれぞれ20本制作してSNSやホームページで公開した。Twitterでの再生回数は平均6,227回、YouTubeでの再生回数は平均9,031回だった。</li> </ul>			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビ・ラジオの広報番組は幅広い層が視聴する機会を得るよう、同一の内容を異なる曜日と時間帯で放送したり、ラジオの放送回数を増やしたり、放送日を土日に限らず平日にも広げることから、よりタイムリーな情報を幅広い年齢層に発信することができたことから、適正と考えている。</li> <li>動画とマンガは合わせて月約3~4本を制作・配信しており、制作本数は適正と考えている。</li> <li>市民の情報入手手段は多様化していることから、世代に応じた効果的な広報手段を調査し、番組の放送回数や番組数、活用する広報媒体などを検討する必要がある。</li> </ul>			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら能動的に情報収集する必要がある広報誌やホームページと異なり、市政に関心が低い市民も接する機会が多いことから、テレビ・ラジオを活用した事業手法は適切である。また、若年層においてSNS利用が増加していることから、SNSによる広報を行ったことも適切である。</li> <li>契約の相手方の選定にあたっては、いずれも広く提案を求める公募型企画競争を実施しており、事業は効率的・効果的に実施されている。</li> </ul>			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の市民意識調査の結果、市民の情報入手手段としては、テレビが83.3%と最も高かったことから、テレビで市政情報を発信することは効果的であるが、視聴率が減少している状況を踏まえ、効果的な広報手段について、調査検討を行う必要がある。</li> <li>同調査において20代は情報入手手段としてSNSを最も利用しているとの結果があったことから、SNSで市政情報を発信することは幅広い年齢の市民に市政情報を届けるために効果的である。</li> </ul>			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声・映像コンテンツは、市政情報をわかりやすく伝える手段であり、広く市民に届けるための媒体として、特にテレビ・ラジオは受動的に接触されるという特性があることから、今後も継続して活用していく。</li> <li>一方、世代によっては、テレビ・ラジオ以外で情報を入手する機会も増えていることから、SNSをはじめ、街頭ビジョンなど様々な世代に接触率が高い広報手段を検討していく必要がある。</li> </ul>				
前回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	テレビ・ラジオ番組の放映局及び番組数を一部変更し、SNSを活用した動画、漫画による広報を拡充した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	あらゆる広報手段を活用し、広く市民に対し広報活動を行うことができたが、広報番組においては視聴率・聴取率が減少しており、番組内容や他の媒体との連携(2次利用)について、随時見直しをしていく必要がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止</li> <li>・市政情報、街の魅力それぞれについて、テレビ・ラジオ番組を制作して発信する。</li> <li>・制作した広報動画をSNS等で発信する。</li> <li>・街頭ビジョンで、動画・静止画・文字による広報活動を実施する。</li> </ul>			
	予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他</li> <li>引き続き、市民の接触度が高いテレビ・ラジオによる情報発信を積極的に行うとともに、SNSなど、多様化する市民の情報収集手段の変化に応じた様々なメディアの活用等、効果的な広報手段について検討し、市政広報、魅力発信を一体的に展開する。</li> </ul>		見直し効果額	0